



好きやねん湖東

第81号

湖東中学生の卒業展!



「卒業展」は生徒が創る!



あんな感じで作って!



湖東中学校では、「卒業展」を2月18日から3月2日までの間、湖東図書館で開催しました。

この「卒業展」は、毎年3年生が新たな旅立ちを前に義務教育9年間の集大成として取り組んでいるものです。7回目となる今年のテーマは“絆 - 今伝えたいもの - ”として、3年生92人全員が「言葉と絵で自分のメッセージを伝える」作品を制作しました。

展示会の企画から会場準備、そして運営まで生徒が自ら創り上げたものです。美術科の林先生は「生徒の授業中の活動を地域の方にも観ていただいて、中学生の姿を地域へと発信していきたい」と、話されます。

また、作品を見に来られた方は「今の中学生が考えていることがよく分かって大変良かったです。来年も期待しています」と、笑顔で帰られました。

“ぜひ湖東中学校の伝統となることを期待しています” (Nishizawa)



むずかしい (+o+)

2月8日~14日 (パネル、アンケートBOXなどを制作)

もう少し上かな~



重いよ~(〜)



2月15日~17日 (会場準備)



みんな
すご~い!



2月18日~3月2日 (開催)

おじゃまします

さざんか学習講座『絵画教室』

教室のドアを開けるとブーンと油絵の具のいい香りが漂います。おじゃました日は、当番の方が用意された『ゆり』『つぼ』『七人のコビトのぬいぐるみ』の中から、皆さん好きな物を油絵や水彩画にされていました。

絵画教室は現在 22 名が受講され、湖東地区の方が 6 名。愛東や八日市、遠くは多賀などからも受講されています。毎月 1 回第 4 水曜日をレッスンの日として朝 9:30～午後 3:30 まで、一日絵に没頭されます。

主に 10 号の大きさの絵を描かれることが多く、1 日に 1 作品を目標にされています。でも教室で完成させるのは難しく、描き切れない残りは家で仕上げる方がほとんどです。

講師の川島 喜三郎 先生 80 才は『絵を描くには、まず中心を決めて次に構図を決めるまでが 70%。残り 30%は色と感性で決まる。自分の経験をもとに、まずは型作り、その後それをどこまで崩し、どのように色をつけていくのか。また一日中描いているので、朝と午後の光の当たり方も変化します。光が物にどのように当たるかも濃淡をつけるのに大事なこと。そのような点などアドバイスしています。皆さんどんどん上達され、各展覧会で表彰されていますよ。教室では絵画を楽しんでもらうことを一番に指導をしています』と、とても気さくに話して下さいました。

受講生の方に絵を始めたきっかけを聞くと、『何か表現出来る事はないか。』『油絵は何度でも描き直しがきくのが魅力』と、人それぞれ。でも、皆さんが口をそろえておっしゃるのは、『絵画を始めてから、桜やコスモスの花びらが何枚あるのか細かく観察するようになった。また、山の景色の緑の濃淡、コブシの白、桜のピンク、紅葉の赤など季節を感じながら色を見るようになった。表と裏、光と陰など多方面から見られるようになった。』と、絵を始めてから物の見方が変わって来たと言うことでした。

毎月 1 枚完成すると、1 年で 12 枚。少しずつ上達していくのも皆さんの楽しみようです。興味のある方は、一度見学に行かれてみてはいかがでしょうか？絵画を通して新しい発見があるかも！？ (Piroko)



キャンバスに向かう受講者

まち協だより

読み聞かせ講習会 & 親子で絵本と遊びの集い

2月26日(日)湖東コミュニティセンターで『読み聞かせ講習会』を開催しました。これは、読み聞かせをより多くの人に知ってもらうこと、子どもたちに絵本の楽しさを伝えることを目的に開催したものです。

15名の参加者からは「小学校で読み聞かせをさせていただいています。読み方や本の持ち方など具体的な方法を教えてもらい役に立ちました」と、好評でした。

その後、『親子で絵本と遊びの集い』を開催しました。集いでは大人22名と子ども20名の参加があり、絵本や遊びを通して親子で楽しいふれあいのひとときを過ごしました。

子育て支援部会では、これからも子育てに役立つような催しを継続していきたいと考えています。



真剣にお話を聞く子どもたち

【お知らせ】

湖東第一児童館は、2012年4月から“童夢の館 どむ どむ”に名称を改めてスタートします。そこで、記念イベントとして4月7日(土)“どむ どむ オープニング・フェスタ”を開催します。ぜひ皆さんでお越しください。

【詳しくは、湖東第一児童館 0505-801-1406】

地域の話

「青少年を育てる湖東のつどい」を開催

「青少年健全育成標語」

最優秀作品

“その態度 その会話
子供が見ている
聞いている”



湖東中学生によるオープニング

2月12日(日)湖東中学校体育館において「青少年を育てる湖東のつどい」【主催：東近江市青少年育成市民会議湖東支部、共催：湖東地区社会福祉協議会】が開催されました。

つどいのオープニングは湖東中学校吹奏楽部による演奏、続いて湖東支部の活動報告があり、その席上「青少年健全育成標語」の表彰が行われました。

今年、最優秀に選ばれたのは、植田 富美子(横溝町)さんの作品「その態度 その会話 子供が見ている 聞いている」植田さんは「子どもたちは、私たちが思っている以上に、何気ない言葉使いや態度を観察しています。大人は、自分の言動が子どもたちの手本となり、常日頃から責任ある態度をとることが大切だと思います」と、作品に込めた想いを話されました。

また、映画「地球が動いた日」も併せて上映され、参加者からは「阪神大震災で色々なものを失くしても人の優しさに触れ強く成長していく子どもたちに感動しました。助け合い、思いやる気持ちに心が温くなる映画でした」と感想をいただきました。

(Nishizawa)

～ たいは商 中 ～ 「小弥百貨店」

今月は、湖東第三小学校のすぐ近く 小弥（こうや）さんの呼び名で親しまれている小弥（こうや）百貨店の 辰己 昌和（たつみ まさかず）さんにお話をうかがいました。

文房具や日用雑貨、事務機の販売・修理なら何でもおまかせ！

小弥百貨店は、お父さんの 和男 さんが築き上げられたお店で、昌和さんは、お父さんから引き継がれて2代目です。ここ小田町で61年間営まれています。

現在は、東近江市商工会湖東支部の副支部長であり、ことうスタンプ会の会長をされています。「地元のお店をたくさん利用してください!」と、力強いコメントをいただきました。

私も小弥さんで昔からノートなどの文房具を買わせていただいています。親切にオススメなども教えてくださいますので、近くにお越しの際はお立ち寄りください!



(Yoshiaki) 辰己 昌和 さん



「小弥百貨店」

小田町 353 番地
電話番号 0749-45-0022

プレゼント!

「小弥百貨店」提供の“針なしステープラー”を10名の皆さんにプレゼントします。ご希望の方は、下記の要領によりご応募ください。

<応募方法>

あなたの住所、氏名、電話番号を記入の上事務局まで、はがき、メールまたはFAXでお送り下さい。

締め切り: **4月10日(火) 必着**

事務局 〒527-0113 池庄町 495

Eメール suki-koto@e-omi.ne.jp

FAX 0505-802-3393



<見本>
プレゼント品は 見本と異なる場合があります。

～ 我が家の笑顔 ～ やしゃご 玄孫の誕生に山口さんちは 笑顔一杯!! (小八木町)



- <最後列左から> 恵莉(えり)さん 【ひ孫】
雅裕(まさひろ)さん 【ひ孫】
- <中列左から> 準己(のりみ)さん 【孫の夫】
公子(きみこ)さん 【孫】
智裕(ともひろ)さん 【ひ孫】
信子(のぶこ)さん 【子の妻】
- <前列左から> 文美(あやみ)さん 【ひ孫の妻】
はつ(はつ)さん(100才)
- <最前列> 貴裕(たかひろ)さん 【ひ孫】
鳳丸(ほうまくん)(6ヶ月) 【玄孫】

“はつ”さんのコメントです!
「ほら～うれしいわな～ こんなめでたいことないわな。玄孫の次は、ししゃもを見たいわな」(^o^)

注: 本当は玄孫の次は、来孫(らいそん)といひます。

読者投稿コーナー

皆さんからの情報
や投稿をお待ちし
ています!(^^)!

～ まち協だより ② ～

指定管理仮基本協定書の
調印式



2月27日(月) 東近江市役所で、まち協が湖東コミュニティセンターの指定管理を行うことから、市長・教育長・まち協運営委員長が仮基本協定書に調印を行いました。今後、3月の市議会で議決されると、4月1日から、正式にまち協が指定管理者になります。

湖東コミュニティセンターの開館式を、4月1日(日)午後3時から予定しています。開館式では、式典・基調講演・記念アトラクションを予定しています。ぜひ、ご参加下さい。